



## 2 予約・リクエストはここで

カウンターの前には予約・リクエスト申込書があります。予約は電話 ☎875-0088・FAX876-1864・メール yoyaku-tosyokan@town.hayama.lg.jpからもできます。



## 1 展示コーナー

図書館入ってすぐ左手には「展示コーナー」があります。月1回展示が変わり、5月9日までは「平家物語」、その後6月13日までは「葉山町所蔵美術展」です。

## 3 カウンター

貸出し・返却・質問などはカウンターでお受けします。閉館時は返却ポスト（図書館階段下、葉桜会館、木古庭会館）に入れてください。

※本・雑誌のみ。



# 葉山町立図書館



## ☆ 利用案内

・まず、図書館カードを作ろう

図書館カードは住所が確認できるものを持ち、カウンターで登録をしてください。カードは即日発行します。町外で、横須賀市・逗子市・三浦市・鎌倉市の方も登録・発行ができますので、住所が確認できるものと当該市の図書館カードをお持ちください。

・貸出し図書数と期間は？

本 …… 4冊・2週間

雑誌 …… 2冊・1週間

カセットテープ・CD・ビデオテープ・DVDいずれか …… 2点・1週間

・借りるときは？

借りたい資料と図書館カードを持ってカウンターで手続きしてください。

・返すときは？

資料をカウンターへお持ちください。

・開館時間 9時～18時

・休館日 毎週月曜・第2木曜日（館内整理日） 祝日の翌日、6月1日（金）から7日（木）まで、資料の総点検と消毒のため休館します。

年末年始（振替になる場合があります）ので図書館カレンダーで確認してください。

※5月の休館日は各月曜日の7・14・

21・28日、1日（祝日の翌日）、2日・

8日（振替休館日）、10日（館内整理

日）です。

## 6 静かに本が読みたい人は？

図書館に入ってすぐ右手にある学習室をご利用ください。番号札がなくなりましたので、好きな席で学習することができます。



## 4 雑誌コーナー

カウンターのすぐ隣には雑誌コーナーがあり、読みたい雑誌を椅子に座ってゆっくりと読むことができます。とても明るい空間で、ゆっくり読書ができます。



## 5 新着図書・特集資料

貸出室正面の本棚には、新着図書・特集資料があります。4月は入学・入園シーズンで通学・通園バッグやお弁当のおかずの本が特集されていました！5月は梅と保存食です。

### 探している本が見つからない！

館内には3台のタッチパネル式のパソコンがあり、蔵書の検索ができます。このパソコンは「おとな用」「こども用」の切替えができ、子どもでも簡単に本を探することができます。

また、自宅のパソコン・携帯電話からもインターネットを使って検索ができます。蔵書検索のアドレスは<http://www.w-hyml.com>です。



## 《おはなし会はこんなようす》

4月4日(水)、15時からのおはなし会に参加してみました！春休みということもあり、たくさんのおはなし会がはなしコーナーに集まりました。



絵本や紙芝居はもちろん、みんなが参加できる歌あそびやパネルシアターもあります。



おはなし会は各水曜日の15時から15時30分におはなしコーナーで開催されます。5月は9日・16日・23日・30日ですので、みなさん参加してみてください。



おはなし会のテーマの絵本はおはなしコーナーすぐ近くの棚に置いてあります。5月のテーマは「あそび」です。

# 特集 こどもの読書週間



4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」です。これは子どもたちに読書の楽しみや喜びを知らせ、もともと本に親しんでほしいとの願いから設けられたものです。この機会に、子どもの読書の

意味やどんな絵本を選んだらよいかを考えてみてはいかがでしょうか。

近年、こどもや若者の「活字離れ」が問題となっていていますが、ほんの少し工夫するだけで読書への道は開けます。このこどもの読書週間にきつかけに、みなさんも自分なりの「読書」について考えてみませんか？

今回は今年2月に開催された公民館教室「絵本の読み聞かせ講座」の講師、

平田美恵子さんのお話から、「読み聞かせのコツ」について勉強してみましよう。また、2・3ページの町立図書館の利用方法も同時に参考してみてください。

## 平田 美恵子さん



主に小学校を中心に保育園や図書館などで、30年に渡ってお話を語り、現在は読み聞かせボランティア養成の講師としても全国各地で活躍中。

共著書に「お話会ガイドブック」(こぐま社刊)「ほくの絵本 わたしの絵本」(プランニング遊刊)などがあり、現在は「小学校での読み聞かせガイドブック」を執筆中。(共著プランニング遊 5月刊行予定)

## 「子ども時代に楽しい本に出会う体験が大切」

平田さんは、戦後まもなく、絵本も少なく学校の図書室もない時代に育ったが、父親や担任の先生の語ってくれたお話がとても面白かったことで、お話や文学へ興味を持つようになり、自分自身も「語り」の仕事をするように。

「読み聞かせをしてもらったからといって、すべての子どもが読書家になるとは限りませんが、子ども時代に「読んでもらった絵本が楽しかった!」という体験をもつことはとても大切。それは絵本が文学に触

れる第一歩として、その後の読書生活の基礎を作るからというだけではありません。両親や祖父母、先生や周囲の大人からよい絵本を読んでもらったひとときは、大きな喜びとなって、時には生涯の宝として心に残ることもあるでしょう。忙しさにかまけず、どうぞ子どもたちと一緒に絵本を読む楽しさを味わってみてください。それは大人にとっても癒される時間になるのではないのでしょうか。」

グループへの

読み

聞かせ

## ワンポイントレッスン!

～学校や幼稚園などで、読み聞かせボランティアをしてみたいと思ったら～

## 1. 絵本えらび

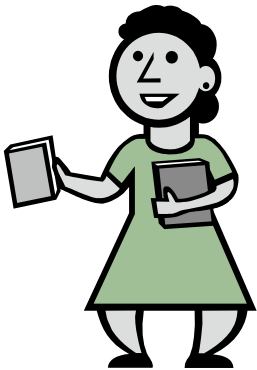


読み聞かせボランティアのように不特定多数の子どもに向けての読み聞かせでは、お母さんが子どもに読み聞かせるとき以上に、絵本自体の力が要求されます。どんな絵本を選ぶかが成功のカギを握っています。例えば幼児に向けての読み聞かせも、絵本の持つ力によって、言葉がわからなくとも感じるものがあったり、他言語の絵本でも、絵を見るだけで世界観が伝わったりとするものです。

## Q. 良い本はどうやって探せばいいの？

A. 子どもは絵本の世界に入り込んだら、主人公と一体になるので、主人公が幸せになるハッピーエンドのものを選びましょう。まずは、長年読み継がれてきた絵本をおすすめします。また、大切なのは「自分自身も本当に面白いと思うもの」であること。大人の視点ではなく、「子どもの目線」で楽しめるものを探しましょう。

## 2. 練習



上手な読み聞かせをするには、声に出して10回位、練習する必要があります。本はまっすぐ持ってぐらぐら動かさず、めくる時は、腕で絵が隠れないように気をつけ、間の取り方やスピードなど、お話に合わせて読み方を工夫しましょう。タイトルは表紙とタイトルページの2回読むようにすると、子どもも本の題名を覚えることができます。

## Q. 絵本の読み聞かせと紙芝居の違いは？

A. 紙芝居は登場人物によって声色を変えるなどの演技が必要なエンターテインメント。絵本の読み聞かせは「子どもたちに絵本の世界観を伝えるもの」で、演技はしません。

## Q. 読み聞かせ中に質問が出たら？

A. 絵本の世界観を失わないよう、最小限の言葉で答えましょう。難しい単語で質問が出そうなものがあったら、練習時にチェック！

## 3. 本番



子どもたちが床に座っているなら自分は椅子、椅子に座っているなら自分は立つなどの読み聞かせる姿勢も大切です。子どもたちの反応を見ながら、自分自身も楽しんで読むことができれば完璧です！

## Q. 高学年への読み聞かせは？

A. 大きい子向けの絵本は少ないので、絵本の他、昔話の朗読などが、読書のスタートラインとしても効果的です。この場合、絵本よりもっとよく練習して、時々、本から目をあげて子どもたちの顔を見て読めるようにしておく、よく聞いてくれます。